

美瑛岳

美瑛町立美瑛中学校
学校だより
令和8年2月号

今、美瑛中学校では

校長 佐藤 雅輝

令和8年も早2か月が過ぎようとしています。年明けから今まであっという間だったと感じています。

今、美瑛中学校の生徒たちは、3学期を今までの学期の総まとめとして、4月からの学校生活を視野に入れながら毎日を送っています。3月12日には卒業式がありますので、そのための準備も少しずつ始まっています。とにかく3年生に気持ちよく卒業してもらおうと1、2年生は思案中です。

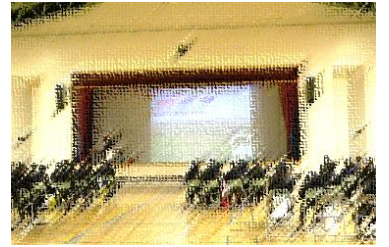
3年生はといいますと、1月に私立高推薦入試、高等支援学校入試、2月10日公立高推薦入試、13日私立高一般入試と続き、受験も終盤に近づいております。そして、3月4日は公立高校一般入試、5日公立高校面接試験です。受験は生徒たちにとって初めて臨む人生の大きなハードルであり、かなりの緊張を伴う壁でもあります。その壁に向かって懸命に頑張っているのが3年生です。3月17日は公立高の合格発表です。3年生の皆が笑顔で「15の春」を迎えることができるよう支援をしていきたいと思ひます。

高校入試ですが、以前は学力を重視しており、面接試験というものはあまり実施されていない時代もありました。今の高校入試は、公立高・私立高、また推薦入試・一般入試のどちらにおいても多くの学校が面接試験を実施しており、面接試験が学力試験と同様に合否判定に大きく影響を及ぼしていると言えます。私も生徒の面接練習最終チェックのため、面接練習を行っております。驚かされるのは本校生徒の面接の上手さです。どの生徒も面接に真剣に取り組んでいる姿が印象に残ります。「この高校を志望した理由は何ですか?」「高校でどのような3年間を過ごそうと思ひていますか?」「将来の夢は何ですか?」「自分の長所や短所は何ですか?」などの一般的な質問に、はきはきと流れるように答えが返ってきました。また、「最近のニュースや社会問題」「いじめ」「校則」「スマホ問題」など、自分自身がどう考えているかを聞くような質問にもひるむことなくすらすらと答えていました。これは、美瑛中学校の生徒が、学校行事や総合的な学習の時間、生徒会活動、部活動等の体験的な学習、更に町長講話や木育講座といった地域からの学びをとおして、視野を広げ、自分の言葉で考え、相手に伝える力を身につけることができた証だと思ひます。まさに社会に出て生きて働く力が小さい頃から、町全体で育まれ、積み上げられており、そうして得た力が高校入試の面接にも発揮されているものと考えています。

これからも生徒たちがいろいろな経験を積むことで、「未来を見据え、無限の可能性へ向かって駆けることができる」よう、更に成長してくれればと思ひています。引き続き美瑛中学校へのご理解・ご協力をお願いするとともに、生徒への指導も合わせてご協力いただければと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

美瑛町のこれからを考える

2月2日に角和町長を学校にお招きし、町内の2学年の生徒に向けて、講話をしていただきました。美瑛町の現状を説明していただき、そのお話をもとに、これからの美瑛町に必要なことやものについて話し合い、意見を出し合いました。



各所で躍動する美瑛中生

【管楽器個人、アンサンブルコンテスト】

1月17日に、北海道管楽器個人コンテスト・北海道アンサンブルコンテストの旭川地区予選が行われました。本校からは個人の部に2年の原ちたるさん、アンサンブルの部に2年の千葉凜さん、杉山小芭菜さん、原ちたるさん、鈴木仁菜さん、栗原季杜さん、今野詞音さん、1年の澤崎小陽さんが出場しました。

結果は、個人の部は銀賞、アンサンブルの部は金賞で、アンサンブルは続く2月14日に札幌市で行われた北海道大会にも出場しました。北海道大会の結果は銀賞でしたが、全道の舞台上で素晴らしい演奏を披露した生徒たちにとっては、大きな自信につながったと思ひます。この経験を糧に、更なる高みを目指してほしいと思ひています。



【中体連スキー】

1月15日～17日、上士幌町のぬかびら源泉郷スキー場でアルペンの全道大会が行われ、2年の梶浦杏奈さんが出場しました。

また1月9日～11日には名寄市でクロスカントリーの全道大会が開催され、2年の村上凱さん、古屋朔太郎さん、長澤征史朗さんが出場しました。

いずれも全国大会に進むことはできなかったものの、日頃の練習の成果を発揮しようと全力で競技に挑みました。

【少年の主張】

1月17日、町民センター「大会議室」にて、美瑛町「少年の主張」発表大会が開催されました。本校から出場した5名（6名参加予定でしたが、部活動の大会と重なったため、5名の参加となりました）は、緊張の中、自分の考えをしっかりと述べました。

優秀賞 藤嶋星汰さん 「地元ファースト」
土井美乃織さん 「平和への願い」

優良賞 笹倉聖奈さん 「遺す」
橋本榎乃華さん 「男女差別をなくしていくために」
熊谷咲希さん 「戦争の悲惨さ」

